

ノバルティス、継続事業の売上高12%増、コア営業利益21%増実質ベース1を達成。サンドのスピノフを実施し、研究開発面でのマイルストーンを達成するとともに、2023年通期業績予想を上方修正

Nov 06, 2023

## プレスリリース

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

この資料は、ノバルティススイス・バーゼルが2023年10月24日現地時間に発表したものを日本語に翻訳要約したもので、参考資料として提供するものです。資料の内容および解釈については、英語が優先されます。英語版は、<https://www.novartis.com>をご参照下さい。

- サンドの独立により、革新的医薬品に特化した製薬企業への転換を完了。以下の内容は、継続事業<sup>2</sup>に関するもの：
  - 2023年第3四半期の売上高は12%増実質ベース、米ドルベース12%増、コア営業利益は21%増実質ベース、米ドルベース17%増)
    - ケシンブタ実質ベース124%増、エンレスト実質ベース31%増) Kisqali実質ベース76%増) Pluvicto実質ベース217%増およびセムブリックス157%増の継続的で堅調な業績が成長を牽引
  - 2023年第3四半期の営業利益は売上高の増加と事業再編費の減少により13%増実質ベース、米ドルベース4%減) 開発初期段階のプロジェクトの中止に伴う減損費用の増加により一部相殺
  - 2023年第3四半期の純利益は37%増実質ベース、米ドルベース14%増、主に営業利益の拡大が寄与
  - 2023年第3四半期のフリーキャッシュフロー<sup>3</sup>は、50億米ドル米ドルベース24%増) 営業活動からのキャッシュフローの増加が寄与
  - 2023年第3四半期のコアEPSは29%増実質ベース、米ドルベース24%増の1.74米ドル
  - 2023年1-9月期の業績は好調、売上高は10%増実質ベース、米ドルベース8%増、コア営業利益は19%増実質ベース、米ドルベース13%増)
  - 2023年第3四半期のイノベーション面での主なマイルストーンには、ブロックバスターとなる可能性がある複数の開発プロジェクトの第III相臨床試験における肯定的なデータが含まれる：
    - コセンティクス - FDAは3つの適応症乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎に対する静注製剤を承認

- 1) Pluvicto  
 のタキサン系抗がん剤未治療の転移性去勢抵抗性前立腺がん(mCRPC)適応、2) ip  
 tacopanのIgA腎症適応、3) vemibrutinibの慢性の特発性蕁麻疹(CSU)適応、4) ル  
 タテラの膵・消化管神経内分泌腫瘍(GEP-NETs)適応に関する臨床的に意味があり  
 、統計学的に有意な第 相臨床試験データが示される
- Kisqali - 第III相NATALEE試験の無浸潤疾患生存期間(QFS)に関するイベント解析  
 が終了、EUで承認申請を実施、米国での承認申請は2023年第4四半期の予定
- 最大で150億米ドルの発表済みの自己株式購入を開始(2025年末までに完了)
- 力強い業績の伸びを受け、コア営業利益の2023年通期業績予想を上方修正<sup>4</sup>
  - 売上高は、一桁台後半の成長率 を予想
  - コア営業利益は、10%台半ばから後  
 半の成長率を予想(10%台前半から半ばの成長率から上方修正)

2023年10月24日、スイス・バーゼル発 ノバルティスCEOのヴァス・ナラシンハンは、2023年第3  
 四半期の業績について、次のようにコメントしています。

「ノバルティスは、売上高およびコア営業利益の二桁成長を記録し、2023年通期業績予想のさらなる  
 上方修正を行うなど、第3四半期は非常に力強い業績を達成しました。ノバルティスは、サンドの  
 スピンオフを成功裏に実施し、高い価値をもたらす革新的医薬品に特化することができるようにな  
 りました。ケシンブタ、エンレスト、 Kisqali、 Pluvicto  
 などの成長製品は、引き続き市場で優れた業績を示しています。私たちの強力なパイプラインもまた、  
 引き続き成果を生み出しており、 Pluvicto  
 、 iptacopan、 remibrutinib、 ルタテラに関して重要なマイルストーンを達成しました。ノバルティス  
 は、中期的な成長の見通しに自信を持っており、引き続き株主に対する価値の創出に注力していき  
 ます。」

## 主要数値<sup>1</sup>

第3四半期( 9月 )

### 継続事業<sup>2</sup>

	2023年 第3四半期 百万米ドル	2023年 第3四半期 円	2022年 第3四半期 百万米ドル	前年同期比% ) 米ドルベース	前年同期比% ) 実質ベース
売上高	11 782		10 492	12	12
営業利益	1 762		1 826	-4	13
純利益	1 513		1 330	14	37
1株当たり 純利益(EPS)	0.73		0.61	20	45
フリーキャッシュ ユ フロー <sup>4</sup> コアベース	5 043		4 054	24	
営業利益	4 405		3 772	17	21
純利益	3 585		3 035	18	23
1株当たり 純利益(EPS)	1.74		1.40	24	29

1-9月期

## 継続事業<sup>2</sup>

	2023年 1-9月期 百万米ドル	2023年 1-9月期 円	2022年 1-9月期 百万米ドル	前年同期比% ) 米ドルベース	前年同期比% ) 実質ベース
売上高	34 017		31 630	8	10
営業利益	7 187		6 191	16	31
純利益	5 934		4 734	25	41
1株当たり 純利益(PS)	2.84		2.16	31	49
フリーキャッシュ フロー <sup>4</sup> コアベース	11 019		8 661	27	
営業利益	12 551		11 149	13	19
純利益	10 320		8 983	15	22
1株当たり 純利益(PS)	4.95		4.09	21	28

1. 実質ベースの数値、コアベースの業績ならびにフリーキャッシュフローは、国際会計基準(IFRS)に準拠していません。IFRSに準拠していない数値の説明は、要約版業績報告書英文オリジナル版の48ページに記載されています。本リリースに掲載される成長率は、特に記載される場合を除き、すべて前年同期に対するものです。
2. 要約版業績報告書英文オリジナル版の37ページに記載されるとおり、継続事業には、イノベティブ・メディシン事業部門ならびに継続事業のコア活動からなるノバルティスに残る事業活動が含まれ、非継続事業には、サンドの業績が含まれます。
3. ノバルティスは、2023年1月1日付でフリーキャッシュフローの定義を見直し、有形固定資産の購入費を差し引いた営業活動からのキャッシュフローの純額をフリーキャッシュフローと定義しています。前年同期のフリーキャッシュフローの数値は、比較を可能とするために、新たなフリーキャッシュフローの定義に合わせて修正しています。要約版業績報告書英文オリジナル版の48ページをご覧ください。
4. 業績予想の前提条件に関する詳細は、8ページ英文オリジナル版プレスリリースをご覧ください。

## 免責事項

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。したがって、その内容に関して、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、現在の予想と異なる場合があることをご了承ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm20-Fをご参照ください。

## ノバルティスについて

ノバルティスは、より充実したすこやかな毎日のために、医薬の未来を描いています。社会が直面する数々の重大な疾病負担を軽減するために、価値のある医薬品の創出を志し、研究開発における技術的リーダーシップと新しいアクセスの在り方を追求しています。新薬開発のために、常に世界トップクラスの研究開発費を投資しています。詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.novartis.com>

以上

プレスリリース全文はPDFファイルをご参照下さい。(PDF 617KB)

---

Source URL: <https://www.novartis.com/jp-ja/news/media-releases/prkk20231106>

List of links present in page

- <https://www.novartis.com/jp-ja/jp-ja/news/media-releases/prkk20231106>
- <https://www.novartis.com>
- <https://www.novartis.com/jp-ja/jp-ja/sites/novartisjp/files/pr20231106.pdf>